

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	実践英会話	
科目基礎情報							
科目番号	0032			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	共通教育科 (八代)			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Shape it! 3 Combo A (Cambridge UP), Bricks 2 (いっぴな書店)						
担当教員	Benjamin Crowther,福井 由美子						
到達目標							
【書く力】 経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を意識して書くことができる 【話す力】 日常生活や社会問題に関する情報について説明したり、まとまりのある内容を話すができる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
【書く力】		経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を十分に意識して書くことができる		経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を意識して書くことができる		経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を意識して書くことができない	
【話す力】		日常生活や社会問題に関する情報について十分に説明したり、まとまりのある内容をたくさん話すができる		日常生活や社会問題に関する情報について説明したり、まとまりのある内容を話すができる		日常生活や社会問題に関する情報について説明したり、まとまりのある内容を話すができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	実践英会話では、英語I、II、IIIで修得した基礎知識の定着と伸長を目指し、使いながら覚えることを目的にWritingとSpeakingの活動を中心に行う。						
授業の進め方・方法	主にテキストに基づく活動を行う。 授業では、積極的かつ自発的に活動に参加すること、および英語の正確さよりも流暢さを重視する。 必ず授業には予習をして臨むこと。また単語の復習は毎日行うこと。						
注意点	・ 授業は日々の英語学習の確認の場 ・ 授業外での学習こそが自分の英語学習のメインであるという意識で毎日必ず英語学習に取り組む ・ 既習事項がどれくらい定着していて、どれくらい使えるかが大切 ・ 英語力に自信のある4年生を目指して、上達する自分を楽しみながら1年間しっかり頑張ろう！						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction		understand how to learn English set goal of this year by yourselves		
		2週	Starter		talk about technology		
		3週	Starter		talk about music		
		4週	Unit 1, project		think about a problem in your community research possible solutions		
		5週	Unit 1, project		give a presentation about the problem		
		6週	Oral Test		review Starter & Unit 1		
		7週	Oral Test		review Starter & Unit 1		
		8週	Test		check how well you understand the contents of Starter & Unit 1		
	2ndQ	9週	Unit 1		discuss what inspires you		
		10週	Unit 1		listen to a radio show		
		11週	Biblio Battle		read an English book and introduce it		
		12週	Unit 1		interview someone		
		13週	Unit 1		write a letter to a magazine		
		14週	Oral Test		review Unit 1		
		15週	Oral Test		check how well you understand the contents of Unit 1		
		16週	Review the test Unit 3 and Summer Home Work		review the test and make sure what to study during the summer vacation		
後期	3rdQ	1週	Unit 2, project		make a profile of an artist		
		2週	Unit 2, project		present your profile to the class		
		3週	Uni 2		read a magazine article		
		4週	Unit 2		use present perfect forms of the verbs		
		5週	Unit 2		talk about paintings		
		6週	Oral Test		review Unit 2		
		7週	Oral Test		review Unit 2		
		8週	Test		check how well you understand the contents of Unit 2		
	4thQ	9週	Unit 4, project		make a research about PE write a report about a health problem		

	10週	Unit 4, project	present your report to your classmates
	11週	Unit 4	think about life in space
	12週	Unit 4	talk about health eating
	13週	Unit 4	write a post on a forum
	14週	Oral Test	review Unit 4
	15週	Oral Test	check how well you understand the contents of Unit 5
	16週	Review the test	decide what to learn during your spring break

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前4
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつなげる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつなげるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合

	Speaking Test	Written Test	Writing	others	合計
総合評価割合	40	20	30	10	100
基礎的能力	40	20	30	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0